

船舶事故等調査報告書

平成24年4月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012長第2号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年12月20日（火） 06時10分ごろ	
発生場所	熊本県上天草市満越ノ瀬戸 上天草市所在の上天草港柳防波堤灯台から真方位270° 2,800m 付近 （概位 北緯32° 32.9′ 東経130° 24.7′）	
事故等調査の経過	平成24年1月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	モーターボート 長福丸、5トン未満（長さ7.52m） 293-15476熊本、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	船底部に擦過傷、プロペラ、プロペラ軸及び舵柱曲損	
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、友人2人を同乗させ、船首約0.3m、船尾約0.6mの喫水で満越ノ瀬戸を約6ノットの速力により手動操舵を行って西進中、平成23年12月20日06時10分ごろ上天草市永浦島北岸沖の暗岩に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 1 海象：潮汐 下げ潮の初期 日出時刻：07時15分	
その他の事項	船長は、事前に海図などで航行予定水域の水路調査を行っていなかったため、永浦島北岸の暗岩の存在を知らなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、満越ノ瀬戸を西進中、船長が、航行予定水域の水路調査を行っていなかったことから、永浦島北岸の暗岩の存在を知らずに航行し、同暗岩に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、満越ノ瀬戸を西進中、船長が、航行予定水域の水路調査を行っていなかったため、永浦島北岸の暗岩の存在を知らずに航行し、同暗岩に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	